



2021年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月9日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 東

コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長兼経営企画部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2020年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	5,784	0.8	128	62.6	210	40.4	73	58.6
2020年5月期第1四半期	5,830	14.5	344	17.0	352	16.1	178	25.4

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 57百万円 (67.4%) 2020年5月期第1四半期 175百万円 (27.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年5月期第1四半期	9.49	
2020年5月期第1四半期	22.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年5月期第1四半期	21,612	3,650	16.9	468.91
2020年5月期	23,047	3,743	16.2	480.84

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 3,650百万円 2020年5月期 3,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年5月期		0.00		19.28	19.28
2021年5月期					
2021年5月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年5月期の配当につきましては、通期連結業績を見通すことが困難なため、現時点では未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、あわせて配当予想を開示いたします。

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を、現時点では適正かつ合理的に算定することが困難なことから「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年5月期1Q	8,396,000 株	2020年5月期	8,396,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年5月期1Q	610,258 株	2020年5月期	610,258 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年5月期1Q	7,785,742 株	2020年5月期1Q	7,785,742 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大きく制限されるなか、企業収益の減少や雇用環境の悪化がみられ、現在に至るまで厳しい経済状況が続いております。今後、経済が正常化に向かうとしても、感染の再拡大の状況によっては先行きに再び不透明感が強まることが予想されます。

当社グループにおいては、長期的に発展し、時代の流れと社会の要請に対応するため、積極的な事業領域の拡大を行っており、当社グループを安定的に支える教育サービスにとどまらず“人の一生に関わる「一生支援事業」を展開する企業へ事業の拡大をすすめております。学習塾事業、語学関連事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響は比較的大きく受けましたが、保育・介護事業においては影響は限定的なものとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は5,784百万円（前年同期比0.8%減）となり、前年同期に比べ45百万円減少しました。営業利益は128百万円（同62.6%減）となり、前年同期に比べ215百万円減少しました。経常利益は210百万円（同40.4%減）となり、前年同期に比べ142百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円（同58.6%減）となり、前年同期に比べ104百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。なお、セグメントの連結売上高には、セグメント間売上高が含まれています。また、セグメント別売上高には、消費税等は含まれていません。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、感染症拡大防止のための休講の影響で、春先の入室生は大きく減少したもののオンライン授業など代替の施策を展開し、経営成績への影響を最小限にとどめることができました。当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、売上高2,949百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益769百万円（同1.2%減）と減収減益となりました。

<語学関連事業>

英会話事業においては、国内の英会話教室は感染症拡大防止のための休講の影響で入室数が減少しておりましたが、2020年6月以降の入室は前年同期並みに回復いたしました。オーストラリアの英会話学校は留学生が入国できないことから入室数が減少しておりますが、2020年秋以降に回復することを想定しております。日本語教育事業においては、2020年3月より留学生が日本に入国できなかったことが影響して伸びは鈍化いたしました。2020年10月より留学生の入国が可能となり、今後は回復を見込んでおります。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、顧客数の減少により売上高549百万円（同32.8%減）となり、セグメント損失206百万円（前年同期に比べ117百万円の損失増加）となりました。

<保育・介護事業>

保育事業では、2020年8月にHOPPA津田沼ザ・タワー園をあらたに開園し、当社グループ及び連結子会社の保育園の園数は88園となりました。当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、顧客数の増加により、売上高2,285百万円（前年同期比16.9%増）となりましたが、2020年の開園による人件費、減価償却費、採用費の増加が、売上高の増加を上回り、セグメント損失163百万円（前年同期に比べ163百万円の損失増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、21,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,434百万円減少しました。流動資産は、4,828百万円となり1,632百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少2,145百万円、売掛金の増加454百万円等です。固定資産は16,784百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加しました。有形固定資産は、12,120百万円（前連結会計年度末に比べ258百万円増加）となりました。主な要因は、リース資産の増加412百万円等です。無形固定資産は、2,028百万円（同58百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少75百万円等です。投資その他の資産は、2,634百万円（同1百万円減少）となりました。主な要因は、繰延税金資産の減少25百万円、敷金及び保証金の増加19百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、17,961百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,341百万円減少しました。流動負債は、8,025百万円となり1,624百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の減少1,459百万円、未払金の増加131百万円、前受金の減少210百万円、賞与引当金の増加163百万円、その他の減少299百万円等です。固定負債は9,936百万円となり、282百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の減少118百万円、リース債務の増加421百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ、92百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少76百万円、為替換算調整勘定の減少19百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末16.2%から0.7ポイント上昇し16.9%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響額について提出日現在において適正かつ合理的に見積もることが未だ困難があります。そのため2021年5月期の連結業績予想については未定としており、今後、業績予想の開示が可能になった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,053,713	2,908,657
売掛金	708,062	1,162,069
商品	76,419	110,367
貯蔵品	16,518	16,576
その他	641,044	665,090
貸倒引当金	△34,779	△34,683
流動資産合計	6,460,979	4,828,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,035,509	6,904,819
土地	2,780,127	2,779,860
リース資産(純額)	1,573,728	1,986,262
建設仮勘定	5,331	18,437
その他(純額)	467,813	431,498
有形固定資産合計	11,862,510	12,120,879
無形固定資産		
のれん	1,802,351	1,727,345
その他	285,245	301,498
無形固定資産合計	2,087,597	2,028,843
投資その他の資産		
投資有価証券	104,921	104,834
繰延税金資産	836,081	810,092
敷金及び保証金	1,527,256	1,546,617
その他	169,415	174,983
貸倒引当金	△1,671	△1,638
投資その他の資産合計	2,636,003	2,634,889
固定資産合計	16,586,111	16,784,612
資産合計	23,047,090	21,612,692

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,343	137,297
短期借入金	4,759,869	3,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,546,970	1,554,104
リース債務	75,595	76,090
未払金	758,309	889,964
未払法人税等	146,971	123,814
前受金	1,178,848	968,097
賞与引当金	105,448	269,163
資産除去債務	10,791	29,031
その他	977,850	678,010
流動負債合計	9,649,998	8,025,573
固定負債		
長期借入金	4,558,895	4,440,496
リース債務	1,717,483	2,138,618
退職給付に係る負債	1,794,772	1,795,575
役員退職慰労引当金	219,410	223,245
資産除去債務	355,836	348,280
繰延税金負債	906,613	887,083
その他	100,405	102,981
固定負債合計	9,653,417	9,936,280
負債合計	19,303,416	17,961,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	3,804,902	3,728,696
自己株式	△695,920	△695,920
株主資本合計	3,700,829	3,624,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,058	30,020
為替換算調整勘定	63,119	43,185
退職給付に係る調整累計額	△50,332	△46,991
その他の包括利益累計額合計	42,844	26,215
純資産合計	3,743,674	3,650,838
負債純資産合計	23,047,090	21,612,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	5,830,110	5,784,123
売上原価	4,356,839	4,574,815
売上総利益	1,473,270	1,209,307
販売費及び一般管理費	1,128,691	1,080,563
営業利益	344,578	128,744
営業外収益		
受取利息	902	489
受取配当金	1,083	941
為替差益	—	24,501
貸倒引当金戻入額	264	122
持分法による投資利益	—	1,382
助成金収入	—	36,200
補助金収入	31,988	43,829
雑収入	14,733	11,391
営業外収益合計	48,973	118,858
営業外費用		
支払利息	31,329	34,736
為替差損	8,682	—
持分法による投資損失	511	—
雑損失	321	2,650
営業外費用合計	40,844	37,386
経常利益	352,707	210,216
特別利益		
固定資産売却益	—	4,258
特別利益合計	—	4,258
特別損失		
減損損失	5,995	23,131
固定資産除却損	55	10,540
賃貸借契約解約損	—	4,900
特別損失合計	6,050	38,571
税金等調整前四半期純利益	346,656	175,903
法人税、住民税及び事業税	103,967	96,961
法人税等調整額	64,045	5,038
法人税等合計	168,013	102,000
四半期純利益	178,643	73,903
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,643	73,903

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	178,643	73,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,045	△37
為替換算調整勘定	△248	△19,692
退職給付に係る調整額	3,267	3,340
持分法適用会社に対する持分相当額	73	△240
その他の包括利益合計	△2,953	△16,629
四半期包括利益	175,690	57,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,690	57,273

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,057,178	817,818	1,954,870	5,829,867	242	5,830,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,057,178	817,818	1,954,870	5,829,867	242	5,830,110
セグメント利益又は損 失(△)	778,670	△88,656	△1,367	688,646	△344,068	344,578

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△344,068千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△380,100千円及びその他の調整額36,032千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,949,871	548,699	2,285,540	5,784,112	11	5,784,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,004	—	1,004	△1,004	—
計	2,949,871	549,704	2,285,540	5,785,116	△993	5,784,123
セグメント利益又は損 失(△)	769,365	△206,489	△163,673	399,202	△270,458	128,744

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△270,458千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△326,517千円及びその他の調整額56,058千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。